

第5回佐倉市総合計画審議会 要録

日 時	2019年6月7日（金）14時00分～16時15分
場 所	佐倉市役所議会棟1階全員協議会室
出席者	明石委員、淡路委員、佐藤委員（会長）、遠山委員、橋本委員（副会長）、服部委員、石井委員、坂本委員、安川委員、山本委員
事務局	企画政策部長、企画政策課 和田課長、藤崎副主幹、齊藤主査、松本主査、田中主任主事
その他	株式会社ぎょうせい 木戸
議 題	（1）第5次佐倉市総合計画の策定について ① 基本施策（第1章 福祉・健康・子育て、第3章 産業振興） （2）その他
配布資料	資料20 第5次佐倉市総合計画
傍聴者	4人

会長あいさつ

本日は、基本計画の第1章と第3章についてご審議いただく前に、前回の審議会における意見・指摘に対する改善状況について、事務局から説明がある。

（1）第5次佐倉市総合計画の策定について

① 基本施策（第1章 福祉・健康・子育て）

事務局	<p>【基本構想の改善状況についての説明】</p> <p>将来都市像、まちづくりの基本方針については、前回までのご議論を踏まえ、あらためて2案にまとめた。次回審議会には1案にまとめた。 (資料20 P.26～P.28)</p> <p>重点目標については、掲載するグラフの精選や具体的事業内容の追記などの修正を行った。(資料20 P.35～P.44)</p> <p>SDGsについては、17目標の内容と本計画における該当する施策のページ数を掲載し、速やかにたどり着けるようにした。(資料20 P.45～P.49)</p> <p>【基本計画の改善状況についての説明】</p> <p>基本計画に掲載する各施策には、具体的な取組の内容がわかるような事業名を精査・掲載した。</p> <p>「市民の役割」の項目名を「市民・地域への期待」に修正した。</p> <p>「施策の基本方針」の項目名を「4年間の取組」に、「施策」の項目名を「施策の内容」に修正した。</p> <p>成果指標については、施策と紐づくように整理した。</p> <p>【基本計画第1章（福祉・健康・子育て）について】</p> <p>基本施策5つについての説明を行った。</p>
-----	---

副会長	<p>資料 20P.50 など、基本計画の各章の表紙の部分に、施策分野（福祉・健康・子育てなど）を表記してはどうか。</p> <p>また、資料 20P.52 の「市民・地域への期待」の3点目として、地域福祉活動推進団体もがんばる旨の記述を追加できないか。</p>
事務局	<p>ご指摘通り、表紙に施策分野を追記したいと思います。</p> <p>地域福祉活動推進団体について追記するかについては、他の施策内容とのかねあいも考慮し、適切な箇所に記述したいと思いますですが、ここにもなんらかの記述を検討したいと思います。</p>
委員	<p>成果指標にアンケートの満足度があるが、仮に改善していても施策の効果なのか判別ができるものではないため、やめたほうがいい。また、たとえば児童虐待防止の成果指標としては児童相談所相談数など、客観指標を検討すべきだと思う。</p> <p>重点施策の健康づくりについて記載を見て思ったことだが、重点施策と個別施策の関係がわかりにくいように思う。</p> <p>健康づくりの施策内容の中に、教育の観点は盛り込まないのか。また、断熱材等、住宅のあり方と健康づくりも関係があることだが、啓発等について記述を検討してもらいたい。</p>
事務局	<p>以前の会議でもご指摘があり、成果指標としてアンケートの満足度を採用することは可能な限り避けるよう検討してきましたが、どうしても適切な成果指標のないものについて、やむをえずアンケートの満足度を成果指標としたものもあります。</p> <p>また、重点施策と個別施策の関係については、重点施策は個別施策から横串を刺すイメージで抽出しており、性質上重複するものです。ですが、わかりやすい表現を検討いたします。</p> <p>その他、健康づくりに記載する内容については、検討します。</p>
委員	<p>子育て支援において、「父親」の育児へのかかわりについて記述がない。</p>
事務局	<p>事業として父親教室は実施していますが、表現については検討します。</p>
委員	<p>全国的に男性の育休取得が増加しているが、その改善について記述できないか。市の職員の取得状況はどのようになっているのか。</p> <p>また、健康教育の記載を検討するなら、食育についても記載すべきではないか。</p>
事務局	<p>市職員の育休取得状況についてのデータは提示できますが、計画に掲載するかは検討させていただきたい。</p>
委員	<p>高齢者のひきこもりが話題になっているが、孤立化等への対策を明記すれば、先進的な計画となるのではないか。</p>

委員	<p>施策の内容に記載されている「高齢者クラブ」が、孤立防止につながる取組だと思う。しかし、近年の全国的な状況から考えると、これのみで孤立対策にはなるのだろうか。</p>
会長	<p>市内の高齢者クラブは、どのくらいあるのか。</p>
事務局	<p>クラブ数は、市内で70くらいということです。</p>
副会長	<p>「おやじの料理教室」の同期が、終了後もつながりがあるなど、孤立防止に貢献している取組は高齢者クラブだけではない。</p> <p>また、高齢者支援について、地域包括支援センターと民生委員児童委員、社会福祉協議会は、それぞれの設定しているエリア区分が異なっており、連携がとりきれていないように思う。自治会も貢献したい気持ちがあるので、連携のとれるエリア設定を検討いただきたいと思う。</p>
事務局	<p>ご指摘のエリアの問題は、かねてより課題と認識しています。「佐倉市市民協働の推進に関する条例」においても、多様な団体が連携できる仕組みづくりがコンセプトのひとつとなっており、エリアのご指摘については、引き続き改善を検討していきたいと思います。</p>
副会長	<p>他市ではそうした連携をするにも、担い手に困っている例もある。どのように人材育成をしていくのかというのも重要な観点である。</p> <p>また、高齢者クラブは福祉部局、生涯学習活動は教育委員会が推進しており、二重行政となっている。佐倉市での実態はどのようになっているか。</p>
事務局	<p>担い手育成については本市も課題ととらえており、生涯学習活動を活用して取り組んでいるが、まだまだだと認識しています。</p> <p>本市の実態については、次回以降の審議会で説明させていただきます。</p>
委員	<p>福祉や保健は、佐倉市は充実していると思っているが、この計画は総花的で目玉がないと思う。たとえばどれかの施策で「日本一」など掲げることができないか。市民との協働を進めるためには、そうした意欲的な言葉も必要ではないか。</p>
事務局	<p>表現については検討したいと思います。</p>

委員	<p>子育て世代包括支援センターが5箇所ということだが、佐倉市の人口に対し5箇所で充実しているといえるのか。市内には地域子育て支援拠点事業もあり、ほかにも相談できる窓口がたくさんある。記述については検討いただきたい。</p> <p>また、「保育の質の確保」という記述がみられるが、幼稚園（幼児教育）に言及はしないのか。</p> <p>「市立」や「民間」などあえて官民の記述をしているが、時代錯誤だと思う。</p>
事務局	<p>表記については検討しますが、個別の事業をどこまで詳細に書くかについては、個別計画とのかねあいも考慮して進めたい。</p>
委員	<p>「女性の就業率」など、女性が育児をするのが前提のようにとらえられる観点を再検討すれば、政策も次の段階に進むのではないか。</p>
委員	<p>今後外国人が増えていくと予想されるが、地域福祉にそのような観点は加えないのか。山武市は、外国人を翻訳の担い手として雇用している。</p>
事務局	<p>国際化対応については第5章に記載する考えでいるが、福祉においてはご指摘の通り、外国人対応への記述がありません。全体を見て、表記については検討いたします。</p>

(1) 第5次佐倉市総合計画の策定について

① 基本施策（第3章 産業振興）

事務局	<p>【基本計画第3章（産業振興）について】 基本施策4つについての説明を行った。</p>
委員	<p>鹿島川土地改良区に道の駅をつくりたいと思っている。第3章の目玉としても、道の駅を記載できないか。</p>
事務局	<p>「道の駅」と明確に表記できるかは検討します。</p>
副会長	<p>第3章については、4項目8ページだけでは少ないように思う。いろんな取組をもう少し詳しく書けないか。また「産業振興をしないと困る」というニュアンスをもっと出せないだろうか。</p>
委員	<p>もう少し目玉がほしいという指摘は同感である。</p> <p>また、成果指標の「起業塾受講者の創業者数」の目標値が8名というのは、いい設定ではない。</p>

事務局	<p>観光振興についても、これだけ観光資源があるのに、やはり記載が少ない。民泊をもっと推進していけないか。国立歴史民俗博物館については記載してもよいのではないか。</p>
副会長	<p>歴博は日本有数の文化施設であり、それが佐倉市にあるのは重要なことだと思う。存在価値をもっとアピールするべきではないか。</p>
事務局	<p>歴博とは連携協定があり、実際に取組んでいる事業もある。記述のボリュームについては検討します。</p>
委員	<p>記述がもの足りないのは、おそらく市でできることしか書いていないから。すべての施策の記述に、民間企業の力を借りるなどの視点が必要。特定の企業に対する利益になるなどの配慮は理解できるが、もっと踏みこんで書いていいと思う。</p>
委員	<p>「賑わいのあるまち」というネーミングは間違っていると思う。「産業を興してまちを豊かにする」という観点のもとで考えていくべき。「振興」ではなく「産業を興す」という考え方が必要。</p> <p>先ほどの道の駅について、佐倉市においてどのくらい成功する可能性があるのか、データが必要だと思う。コンサルをもっと活用すべき。</p> <p>また、観光そのものをどうするのかという考え方が必要。資源がバラバラに点在している現状を、どのようにしていくか明記できないか。</p> <p>文化にしても、どのようにすれば売り物になるかという観点が必要。そうした観点を持てば、今までなかった文化を作らなければという議論にもなる。</p> <p>佐倉市のような住宅都市では、リフォーム業や（小規模な）引っ越し業が発展する。また、たとえば空き家を意欲的な創業者に貸すなど、住宅政策を産業政策としてとらえ、位置づけることも必要ではないか。</p>
委員	<p>地元の商店街や神社など、意欲のある地元の人への支援について、もう少し言葉を入れていただきたい。</p>
委員	<p>農業振興の成果指標にある「認定農業者数」は、増やすことがよいことなのか。また、「農業法人数」を指標にするほうが適切ではないか。</p> <p>草ぶえの丘は、なぜ農業振興の中に位置づけられているのか。</p>
事務局	<p>認定農業者の増加は、農業収入を改善したい意欲的な方を増やすことであり、農業振興の目的にかなうものです。</p> <p>草ぶえの丘は、都市と農村の交流の場という、もともとの目的からここに位置づけたものです。</p>

委員	<p>12年後の目指す姿として「通年型の観光地」と書かれているが、点となっている資源を線としていくのは、市しか負えない役割。どのように推進していくのか。市が買い取った平井家その鍵になるのではないかと。</p> <p>観光協会の情報発信への「いいね」数とあるが、現状の体制を考えると疑問がある。</p>
委員	<p>にわのわを実施する際に、平井家をサテライト会場として借りるが、一定数の来訪があり売上も上がっている。そうした運用ができるなら、どんどんすべきだと思う。</p>
会長	<p>商工会議所と観光協会は連携がない。一緒になって議論する場があるといい。</p>
事務局	<p>現在策定中の「観光グランドデザイン」においては、平井家や今井家などの観光資源をどのように活用していくか、商工会議所や観光協会とも協議しながら検討を進めています。</p>
委員	<p>平井家前の道路を買い取るという計画はないのか。</p>
事務局	<p>平井家の正面の道路は課題と認識しています。そこからつながる体育館の移設も、今年の市長選の焦点となり、大きな課題として認識しています。</p>
副会長	<p>将来都市像に関する案について、ここまでの審議会におけるの変遷を、資料としてまとめ皆様にお配りした。「佐倉咲く」というフレーズは最初違和感があったが、むしろアピールしていけばいいのではないかと思った。「未来」や「つむぐ」というフレーズもあるといいのではないかと思う。</p> <p>次回1案にしぼりこむということなので、再度ここまで出た案を皆様に確認いただきたい。</p>

閉会